

2017年・2月度の活動報告

2 月	3 日 (水)	全国漁業協同組合連合会 青年女性交流大会審査会
	6 日 (月)	食品安全講演会 MCA 防災無線訓練 NPO とちぎ消費者リンク事務局会議
	7 日 (火)	シニア災害ボランティアシンポジウム in 栃木 防災対策研修会
	9 日 (木)	平成28年度地方消費者グループフォーラム in ながの
	13 日 (月)	くらし部会
	14 日 (火)	第5回定例理事会 第11回うつのみや食育フェア 第3回実行委員会 四倉お茶会打ち合わせ 災害ボランティアコーディネーター養成研修会 NPO とちぎ消費者リンク事例検討委員会
	17 日 (金)	下野ふるさと大賞審査会
	20 日 (月)	宇都宮市食品安全懇話会
	21 日 (火)	とちぎ子育てネットワーク
	22 日 (水)	日生協大規模災害対策交流会
	23 日 (木)	食と農を考えるフォーラム
	25 日 (日)	老年問題セミナー2017(長岡市)

【2度の振り返り】

◇機関運営

- 14日 第5回定例理事会
- 〈くらし部会の活動〉
- 13日 第5回くらし部会

◇行政関係

- 6日 食品安全講演会(宇都宮市保健所生活衛生課)
- 9日 地方消費者グループフォーラム in ながの
- 14日 第11回うつのみや食育フェア 第3回実行委員会
- 20日 宇都宮市食品安全懇話会
- 21日 とちぎ子育てネットワーク

◇ネットワーク活動

- 2016年度とちぎ消費者カレッジ終了報告

◇被災地支援、防災

- 6日 MCA 防災無線訓練
- 7日 シニア災害ボランティアシンポジウム in 栃木
- 10日 防災シンポジウム
- 14日 災害ボランティアコーディネーター養成研修会
四倉お茶会打ち合わせ
- 22日 日生協大規模災害対策交流会

◇その他

- 3日 全漁連 青年女性交流大会審査会
- 17日 下野ふるさと大賞審査会
- 23日 食と農を考えるフォーラム
- 25日 老年問題セミナー2017

〈NPO とちぎ消費者リンクの活動〉

- 6日 事務局会議
- 14日 事例検討会

以上

県連活動

1. 機関運営

- 2月14日(火)第4回定例理事会を開催しました。

報告承認事項として、「12月度、1月度活動報告及び決算報告承認」

協議決定事項として、「次月度以降の取り組み」「会費規程一部改定」「2017年度会費決定」

「第48回通常総会開催日程・代議員定数枠及び選挙区定数決定・代議員申出期間及び関連事項・代議員選挙管理委員指名の同意」

協議事項として「2016年度のまとめと2017年度方針(第一次案)」

以上があり、議案は全て確認されました。

また、報告交流として「日生協中央地連・会員の報告」「2016年度・2017年度の監事監査方針及び監査計画」「総会までのスケジュール」がありました。

くらし部会の活動

- 2月13日(月)、第5回くらし部会を開催しました。

くらし部会で主催した学習会「性暴力・DV・とちぎ性暴力被害者サポートセンターとちエールについて」と「農薬そして遺伝子・放射能汚染から子供たちを守る有機農業者の取り組み」についての振り返り、また「Eco テック&ライフとちぎ2016」振り返りと「2016年度食と農をつなげる会」の振り返りを行いました。

また、来期の活動計画の中で、食育について単協で実施したいこと等を議論し、次回持ち寄って計画を進めることとしました。

報告では「四倉お茶会開催報告」と「日生協・中央地連報告」「会員生協報告」がありました。

2. 行政関連

- 2月20日(月)、宇都宮市食品安全懇話会に会長理事が出席しました。

- 2月6日(月)、宇都宮市主催「食品安全講演会 食の安全について学ぼう」に参加しました。

講演①:あきんどスシローにおける衛生管理と食中毒対策

講師:スシロー品質管理室課長 多田幸代 氏

講演②:誰でもできる HACCP 入門 HACCP の誤解とメリットのお話し

講師:食品環境研究センター取締役 新蔵登喜男氏

- 2月9日(木)、平成28年度「地方消費者フォーラム」メインテーマ…もっとつながろう地域から(開催地長野市)に参加しました。

フォーラム開催7回目となる今年度は、安全・安心な消費者市民社会に向けて、基調講演と、メインテーマに沿った関東甲信越の多様な団体の事例紹介があり、その後分散会交流が行われました。

基調講演:地域連携で消費者市民社会を作る～高齢者の消費者被害の現状～

講師:あい権利擁護支援ネット 池田 恵理子 氏

行政・団体からの取り組み報告

報告①「岡谷市消費生活センターにおける福祉との連携」岡谷市消費生活センター

報告②「消費生活サポーターの受け皿づくりと地域活動」消費者安全ネットいちかわ

報告③「新潟県における消費生活サポーターの活動」NPO 法人新潟県消費者協会

報告④「埼玉県から受託を受けてすすめる地域見守り推進事業」適格消費者団体 NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会(埼玉県)

報告⑤「水戸市民安心安全見守り隊の取り組み」水戸市高齢者福祉地域支援センター



- 2月14日(火)、「第11回うつのみや食育フェア」第3回実行委員会に参加しました。

2016年10月2日(日)に開催された食育フェアについて、宇都宮市より開催結果等の報告がありました。今年度は43,000名と過去最高の市民参加があり、食育について考えるきっかけとなっています。また、「朝ごはん食べ隊」として簡単朝食メニューの紹介等で参加した、宇都宮大学生の代表3名の皆さんから出店の結果報告がありました。

3. その他

- 2月23日(木)食と農を考えるフォーラムが開催されました。

主催・JAグループ栃木、後援・栃木県生協連で「食と農を考えるフォーラム」を開催しました。消費者や消費者団体から合わせて約400名が参加し、米を中心とする国産農畜産物の需要拡大やJAの果たす役割について消費者に理解を求めました。JA栃木中央会の猪瀬尚孝専務理事が情勢報告を行い、その後、基調講演・日本健康食育協会の柏原ゆきよ氏ゆよる「ごはんを食べて元気に若々しく」と、地域農業を守るための取り組みについて農業者・JAから報告がありました。



写真提供・JAグループ栃木

- 2月25日(土)、「老年問題セミナー2017 地域包括ケアシステム～住み慣れた地域で暮らし続けるために～」が長岡市で開催され、会長理事が参加しました。

- ・講演Ⅰ「柏市における地域包括ケア～小山さんの遺志を継いで～」東大任教授 辻 哲夫氏
- ・講演Ⅱ「京都における地域包括ケア」ケアセンターきたおおじ代表 山田 尋志氏
- ・講演Ⅲ「長岡市の在宅医療介護連携推進センターの現状と展望」長尾医院院長 長尾政之助氏
「長岡市地域包括ケア」高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設庁 吉井靖子氏
- ・特別講演「悔いのない看取りを目指して」～在宅ホスピス医の立場から～
ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ氏

〈NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

- 2月6日(月)、事務局会議を開催しました。
- 2月14日(火)、定例の事例検討会議を開催しました。

ネットワーク活動

1. とちぎ消費者ネットワーク

- 2016年度の消費者カレッジの報告書を作成し、委託者である栃木県へ終了報告を行いました。

今年度の開催状況は以下の通りでした。

回	日時	開催校	テーマ・講師	参加人数
目的…消費者教育推進法の施行を受け、若者に対する消費者教育・啓発を重点的に行い、消費者トラブルの未然防止及び消費者問題解決力を身に付けてもらう。 8校10会場で開催。受講者1101名				
1	7月7日 (木)	自治医科大学 医学部教育	それってマルチ商法かも…簡単に儲かる話はありません！～好奇心や軽い気持ちで甘い誘いにご用心～ ・NPO法人 とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎氏	<u>110名</u>
2	9月21日 (水)	佐野短期大学	消費生活センターは身近な味方です ・NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事 麻生 芳子氏	<u>410名</u>
3	10月25日 (火)	宇都宮大学	奨学金も消費者問題 ～返還トラブル予防講座～ ・とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳氏	<u>60名</u>
4	11月17日 (木)	作新学院大学	インターネット時代のスマホのトラブル ～その実態と対処法～ ・NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎氏	<u>58名</u>
5	11月17日 (木)	作新学院大学	インターネット時代のスマホのトラブル ～その実態と対処法～ ・NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎氏	<u>65名</u>
6	11月28日 (月)	宇都宮大学	“消費者クイズ”～キミが社会に出る前に～ ・栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会 会長 高岡 得郎氏 会員 伊藤 延子氏	<u>63名</u>
7	12月14日 (水)	國學院大學栃木 短期大学	若年者が被害者となる消費者問題 ・須藤 博 法律事務所 弁護士 服部 有氏	<u>132名</u>
8	12月20日 (火)	宇都宮共和大学	奨学金と消費者問題～将来ピンチにならないために～ ・とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳氏	<u>27名</u>
9	12月22日 (木)	栃木県農業大学 校	インターネットトラブルについて～ネットを賢く使おう～ ・栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会会員 伊藤 延子氏	<u>64名</u>
10	1月18日 (火)	作新学院大学女 子短期大学部	消費者トラブル予防講座～あなたのお金、狙われています～ ・とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳氏	<u>112名</u>

被災者支援活動 防災の取り組み

1. 東日本大震災、福島第一原発事故被災者支援の取り組み

- 2月6日（火）、被災地の情報提供

みやぎ生協さんの報告「3.11を忘れない～被災地のいま…第42回「震災で親を亡くした子どもと家族に寄り添う」をホームページにアップしました。

〈記事抜粋〉

宮城県では1,066人の子どもが震災で親を亡くしました。津波の後で親の死を知った時の絶望、未だ行方不明の親を想う辛さは、想像に余りあります。

あしなが育英会は2014年、東日本大震災で親を亡くした子どもとその家族が集う「レインボーハウス」を仙台、石巻、陸前高田に開設しました。

レインボーハウスは阪神・淡路大震災をきっかけに誕生した心のケアの活動拠点です。東日本大震災が起きた時、若宮紀章さん(あしなが育英会東北事務所)は「東北にもすぐレインボーハウスが必要になる」と思ったそうです。……………震災遺児・孤児を支援するため行政をはじめ各支援団体がさまざまな活動を行なっています。レインボーハウスはその一角を担うものですが県内の震災遺児・孤児すべてとつながるのは困難です。子どもが望めばいつも手が差し伸べられる環境をつくるのは大人の責任です。そのために何ができるか、これからも考えていかなければなりません。

2. 防災の取り組み

- 2月6日(月)、日本生協連と隔月で実施しているMCA無線訓練を行いました。
- 2月7日(火)、シニア災害ボランティアシンポジウム in 栃木(防災対策研修会)に参加しました。
 災害ボランティアの役割と活動の理解を深めることを目的に、栃木県、一般財団法人地域社会ライフプラン協会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会の共催で、講演とパネルディスカッションが行われました。
 基調講演:災害ボランティアの役割やその支援のあり方
 講師:ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原 公彦 氏
- 2月14日(火)、社会福祉協議会主催、災害ボランティアコーディネーター養成研修会に参加しました。
 講義:「災害時に必要なネットワークと被災地支援で大切なこととは」
 講師:特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李 仁鉄 氏
 被災地の社協では、災害ボランティアセンター開設についての判断、運営、コーディネート、関係機関との調整機能など、具体的な対応が求められます。関東・東北豪雨で見えてきた課題から、災害時の支援体制や日頃の関係づくりを考えることで「災害にも強い福祉のまちづくり」を推進することを目的に開催されました。
- 2月22日(水)、日生協が主催する大規模災害対策交流会に参加しました。

2017年・3月度の活動予定	
1 日(水)	全国漁業協同組合連合会 青年女性交流大会審査会
2 日(木)	〃
2 日(木)	食品表示学習会
3 日(金)	NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
4 日(土)	第52回四倉仮設住宅でのお茶会
6 日(月)	第3回福祉部会 / 定期学習会打ち合わせ
7 日(火)	第7回理事・幹部職員定期学習会
9 日(木)	食の安全ネットワーク全体会
11 日(土)	沖縄視察研修
12 日(日)	〃
13 日(月)	〃
14 日(火)	常務理事会 / NPOとちぎ消費者リンク事務局会議
15 日(水)	県知事新春のつどい
16 日(木)	組合員活動委員会
17 日(金)	平成28年度「地方消費者フォーラム」実行委員会
21 日(火)	消費者ネットワーク幹事会
26 日(日)	全労済生協60周年記念イベント
27 日(月)	平成29年度小山市地産地消・食育推進協議会総会
30 日(木)	中央地連第5回運営委員会第2回中央地連「理事推薦委員会」